

Caduceus Information

カデューシャス通信


Vol.20
(平成28年7月号)



当院屋上より撮影(photo 総務課 本間重規)



シンボルマークについて

当院のシンボルマークは、平和と医術の象徴であるカデューシャス (Caduceus) のつえを頭蓋骨穿孔器 (ずがいこつせんこうき) に置きかえ、ヘビの顔は世界を知る意味で外へ向けています。翼の下にある  は脳神経外科 (Neurosurgery) のことを意味しております。

- ・足うらのしびれ・痛みについて
- ・レビー小体型認知症
- ・ドクター紹介
- ・スタッフ紹介



足うらのしびれ 痛みについて

脳神経外科医長 千葉 泰弘



からだの中で、他と触れ合う機会がもっとも多いのが足うらです。足うらは全体重を支え、移動時には力強いダイナミックな動きをしつつ、クッション替わりの機能も果たします。しかしながら足うらに強いしびれや痛みが生じると、靴を履くのが嫌になったり、出かけるのがつらくなったりと行動範囲が狭まり、日常生活に大きな支障をきたしてくることになります。

さて、足うらにしびれや痛みを生じる疾患を図1にまとめてみました。特に足うらに強い症状をきたしやすいものは赤字にしております。しびれや痛み以外に、皮膚所見や浮腫、かゆみなどの有無も重要な参考所見です。足根管症候群やモートン病には外反母趾や扁平足も多くみられることが知られております。さまざまな原因が絡んでいることが多く、正確な診断を下すことは容易ではありません。

われわれ外科医が力を発揮できるのは、神経への圧迫によって症状をきたす絞扼性神経障害が原因となっている場合です。より良い治療を行うためには適切な診断をする必要があります。まず、問診と身体所見をとることが重要です。絞扼性神経障害は、動きでの症状増強がみられる傾向にあります。また、局所的な圧痛部位を有していることが特徴的で、圧迫により放散症状が出現することもあります。画像精査や神経伝導検査なども重要ですが、足うらのみの症状では除外診断的な意味合いが強く、原因の特定ができないことも多いです。足根管症候群や腓骨神経障害、モートン病の各々の特徴的な所見を図2に示しておきます。治療はまず、薬物治療や患部の安静・保護などの保存的治療が行われます。効果が得られない場合には、神経ブロックを行います。神経ブロック効果が一時的な改善にとどまるものでは手術も検討します。神経への圧迫を取り除くことで症状の改善を期待します。足うら症状の専門家が少ないこともあり広くは知られていませんが、手術が著効する症例が多いのも事実です。


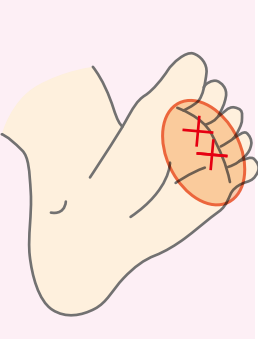
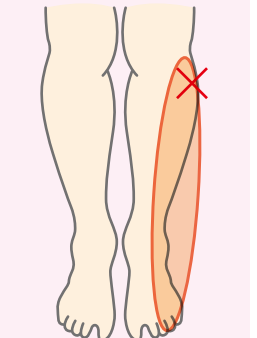
足うら疾患は、まだまだわかっていないことが多く、医療者側からの関心も低い分野です。強い症状にもかかわらず、長い間にわたり正確な診断がなされずに苦しんでいる患者さんも多く存在します。足うら疾患の病態を追及し、その認知度を高め、適切な治療が行っていけるような環境をつくっていく努力が必要であると考えております。



図1 足らにしびれや痛みを呈してくる疾患(原因別)

- ①絞扼性神経障害
足根管症候群、腓骨神経障害、モートン病など
- ②骨格障害
外反母趾、扁平足など
- ③筋肉障害
足底筋膜炎など
- ④循環障害
閉鎖性動脈硬化症など
- ⑤脊椎脊髄疾患
腰椎変性疾患、脊髄腫瘍など
- ⑥腫瘍性病変
ガングリオン、足底繊維腫など
- ⑦代謝疾患
痛風、糖尿病、ビタミン不足、アルコール性など
- ⑧感染症
足白癬など
- ⑧その他
甲状腺疾患、更年期障害、心身症など

図2 足根管症候群、モートン病、腓骨神経障害の特徴的な臨床所見

足根管症候群	モートン病	腓骨神経障害
		
病態にもよるが、足全体の症状を訴えることが多い。	足ゆびの付け根あたりを中心とした症状を訴える。	膝より末梢の外側部での症状を訴えることが多い。
内くるぶしの方やつし踏まずの内側あたり(舟状骨隆起の下あたり)での圧痛が存在。	第2-3趾間や第3-4趾間の足ゆびの付け根での圧痛が存在。	膝の外側やや下の腓骨骨頭の隆起下に圧痛が存在。

レビー小体型認知症



神経内科医長 輿水 修一

レビー小体型認知症は、「認知症」という名前がついていますが、さまざまな症状がみられる病気です。例えば、物忘れよりうつ症状が目立ち、メンタルクリニックに通院していらっしゃる場合もあります。

当院では、主にパーキンソン症状が目立つ方を対象に「パーキンソン病の類縁疾患」としてとらえる立場で診療しております。一見すると「パーキンソン病かな?」と思われる患者様の中にレビー小体型認知症がみられる場合があります。診察室での所見だけでは区別が難しく、いくつかの画像所見を参考に診断いたします。具体的にはSPECT検査を複数行い、この所見を中心に判断しております。

勿論この検査だけで全て診断が可能ということではありませんが、一度調べてみたいというご希望がございましたら、当科までおいでいただきたく思います。



新任ドクター紹介

麻酔科部長 堂崎 信一(どうざき しんいち)

はじめまして、本年4月から麻酔科として勤務しております堂崎です。院長の小柳先生および副院長の緒方先生とは同期です。今年で36年目になります。前任はKKR斗南病院で12年在籍しました。

2年前、小柳先生の外来でお世話になったことから、今回の転勤ということとなりました。自宅は病院の近くなので、通勤がとても楽になりました。麻酔全般とペインクリニックを得意分野としておりますが、今後、当院の手術に少しでもお役に立てるように頑張っていこうと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



神経内科部長 新保 和賢(しんぽ かずよし)

本年4月から北海道脳神経外科記念病院に勤務しております。神経内科29年目になります。ここ14年ほどは、主にパーキンソン病関連疾患を中心とした神経変性疾患の慢性期から終末期までを診療しておりました。今後、新たな気持ちで神経内科診療全般に取り組んでいき、病院に少しでも貢献出来るよう努力していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。



脳神経外科医師 遠藤 将吾(えんどう しょうご)

はじめまして。この4月から当院に赴任した遠藤将吾と申します。昨年まで主に北海道大学病院で脳腫瘍の臨床および研究に携わっておりました。

これからは、これまで通り脳腫瘍診療という専門領域に軸足を置きながらも、脳卒中や外傷をはじめとする急性期医療の担い手として地域に根差した医療を提供すべく、日々の診療に努めたいと思いますので、地域の皆様方、頭痛や手足の力の入りづらさ、痺れなど気になることがありましたらいつでもお気軽にご相談下さい。



スタッフ紹介



4階病棟 看護師 佐藤 沙紀

今年、看護師として2年目になりました。1年目は何もかもが初めてで、どうすればいいかわからず戸惑ってばかりいました。先輩方には時に厳しく指導され、時に優しく話を聞いてもらいました。わからないことを相談し、一緒に悩んでくれる先輩方や同期のおかげで少しずつですがこの1年間で看護師として成長できたのではないかと思います。看護師としてはまだまだ未熟ですが、患者様やご家族の方々に笑顔になって頂けるよう頑張っていこうと思います。



3階病棟 看護助手 濱井 陽介

平成27年12月より3階の回復期リハビリテーション病棟で勤務しております。前職は消防士という少し変わった経歴の持ち主ですが、看護という職業に興味を持ちこの病院に就職しました。回復期リハビリテーション病棟では、患者様が退院に向けより良い環境でリハビリや日常生活を送ることができるよう看護師や助手、リハビリテーションスタッフなどが協力して連携を取りながら勤務しております。また、3階病棟では看護助手もカンファレンスに参加することで看護師と情報共有を図っています。患者様一人ひとりに合わせた支援ができるよう今後も努力して参ります。



医療相談室 医療ソーシャルワーカー(MSW) 大島 秀幸

平成27年6月から当院の医療相談室で医療ソーシャルワーカー(MSW)として勤務しています。以前は札幌しらかば台病院、札幌しらかば台篠路病院でMSWとして勤務していましたが、急性期のMSWになりたいと考えており、医療ソーシャルワーカー協会を通じて北海道脳神経外科記念病院へ就職しました。まだまだ急性期のスピードには慣れていませんが患者さんの為、福祉の視点でより良い支援が行えるよう努力していききたいと思います。



リハビリテーション部 言語療法士 阿部 沙綾

当院が新病院に移転する直前の平成24年4月に就職し、今年5年目を迎えました。リハビリといえば運動をイメージされる方も多いと思いますが、それだけではなく、生活するうえで切り離すことのできないコミュニケーションや食事に関わるお手伝いをさせて頂くのが言語聴覚士の役目です。「言葉がすっと思いつけない」「発音がはっきりしない」「食事の時にムせてしまう」等、患者様一人ひとり異なる症状や要望に合わせたリハビリテーションを提供できるよう努力しております。決して一方通行にならないよう、患者様や患者様を支えるご家族の皆様の気持ちに寄り添うことのできる療法士になりたいと思っています。



総務課 白川 廉

平成28年2月から総務課の職員として勤務しております。主に患者様の送迎、院内の物品管理を担当しております。事務用品から医療消耗品まで物品も多岐にわたるので覚えることも多く、患者様を車椅子またはストレッチャーで送迎させて頂くというは大変責任のある仕事だと感じていますが、患者様やご家族から温かいお礼のお言葉を頂いた時は大変嬉しく、やりがいも感じております。ひとつひとつ仕事を覚えていき、円滑に病院の業務が進むよう、努力していききたいと思います。これから宜しくお願い致します。

外 来 診 療 体 制

～ 平成28年7月1日(金)より診療体制が変わります ～

外来担当医表

	月MON	火TUE	水WED	木THU	金FRI	土SAT					
						第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	
午前	脳神経外科	会田 青樹 田村 今	会田 小鏡 田柳 谷	吉野 小柳	会田 今本 田村 宮	会田 青樹	今村 青寺 村樹 坂	鏡谷 小千 谷柳 葉	会田 千長 田葉 内	鏡谷 小長 谷柳 内	交代制
	神経内科	緒方 緒興	水 興	方水 緒興	水 興	方保 緒新	休診	水 興	休診	休診	休診
	循環器内科	野村 (10:00~12:30)	野村 (10:00~12:30)	野村 (10:00~11:30)	野村 (10:00~12:30)	野村 (10:00~12:30)	休診				
	皮膚科		田代				休診				
午後	脳神経外科	遠藤 青樹	小柳 小吉	千葉	吉野 吉本 野宮	今村 (14:00~16:00) 吉野	休診				
	神経内科	新保	新保	大槻 緒新 方保	水 興	新保	休診				
	循環器内科		野村 (14:00~17:00)		野村 (14:00~17:00)		休診				

注)循環器内科、野村医師の診察は再来と紹介予約のみとなります

受付・診療時間

◆ 午前の診療

受付は、平日が午前8時40分から11時30分まで
(※土曜日は午前8時40分から12時30分まで)
診察は、午前9時より行います

◆ 午後の診療

受付は、午前11時30分から午後5時まで
診察は、午後2時より行います

- ①お電話での予約の申込みや変更は、受診希望日の前日までに下記電話番号へご連絡ください。
TEL:011-717-2131 月曜日～金曜日(11時～16時)
- ②当院の予約は、来院時間を調整するものであり、必ずその予約時間に診察をお約束するものではありません。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。
- ③予約をされていない場合でも、診察させていただきます。
- ④患者様の症状等によって診察の順番が前後したり、急患の対応等で診療開始時間が遅れることがありますのでご了承下さい。
- ⑤診療医師が不在の時は、他の医師が診察させていただきます。不在日は掲示板にてご確認ください。このほか、緊急手術等によりやむを得ず診療医師が変更する場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。
- ⑥当院は24時間救急対応をいたしております。
急に具合が悪くなったときは、夜間・休日問わず電話連絡の上、いつでもご来院下さい。
TEL:011-717-2131

歯 科

院内歯科では、外来はもとより 入院中の患者様の治療も行っています。

診療時間

月・水・金	10:00～13:30	15:00～18:00
火・木	10:00～13:30	15:00～20:00
土	10:00～14:00	

休診日

第2・第4土曜日、日曜日・祝祭日

歯科直通

ナインタイムシバ

TEL&FAX:(011)717-1648

理 念

1. 患者様第一を旨とし、患者様とご家族に安心と満足を提供致します。

基本方針

1. 分かりやすい医療情報を提供致します。
2. 病々・病診連携を推進致します。
3. 根拠に基づいた最新の医療を提供致します。
4. 24時間365日に救急医療体制を提供致します。
5. 健全な病院経営と効率化に努力致します。
6. 安全な医療を提供出来るよう職員の安全教育に努めます。

患者様の権利

私たちは患者様の権利を尊重します

1. 患者様の意志および人権は守られます。
2. 患者様は十分に納得出来るまで説明を受けることが出来ます。
3. 患者様は治療方法を選択することが出来ます。
4. 患者様は平等で適切な医療を受けることが出来ます。
5. 患者様の医療上の個人情報を守られます。
6. 検査、治療にあたっては、他の医療機関での説明を得る事(セカンドオピニオン)が出来ます。

Caduceus Information

私たち 北海道脳神経外科記念病院は、

脳・脊髄・末梢神経の疾患を

急性期からリハビリテーションまで

総合的に診る病院です。



交通アクセス

- ① 地下鉄南北線「北24条」駅から中央バス北72または西51「南新川」下車
- ② 地下鉄東西線「二十四軒」駅からJRバス軒32「八軒8条東4丁目」下車
- ③ 地下鉄南北線「さっぽろ」駅13番出口を出て右、西武デパート跡地南側から中央バス西71「南新川」または西51「北22条西15丁目」下車

医療法人社団 研仁会 北海道脳神経外科記念病院

〒063-0869 札幌市西区八軒9条東5丁目1-20 TEL.011-717-2131 <http://www.hnsmhp.or.jp>